

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 大

上場会社名 eBASE株式会社

コード番号 3835 URL <http://www.ebase.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 常包浩司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO

(氏名) 窪田勝康

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

TEL 06-6486-3955

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	621	403.6	33	—	41	—	23	—
23年3月期第1四半期	123	9.8	△39	—	△38	—	△23	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 23百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △22百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1,621.51	—
23年3月期第1四半期	△1,587.81	—

(注) 平成24年3月期第1四半期における 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため、記載しておりません。
平成23年3月期第1四半期における 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失が計上されているため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,219	—	1,078	—	—	88.1
23年3月期	1,231	—	1,077	—	—	87.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,074百万円 23年3月期 1,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1,600.00	1,600.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	2,400.00	2,400.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,195	237.4	62	87.7	64	82.2	38	96.2	2,672.51
通期	2,557	102.7	265	52.1	290	60.9	174	58.9	11,961.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	14,739 株	23年3月期	14,739 株
24年3月期1Q	192 株	23年3月期	192 株
24年3月期1Q	14,547 株	23年3月期1Q	14,547 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産や輸出が減少し企業収益や設備投資の動向も鈍化する等厳しい状況にあり、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

情報サービス分野では、企業のIT関連の設備投資は企業収益の改善の遅れにより慎重な姿勢は変わらず、厳しい経営環境が続いております。一方、業界の動向としてクラウド(ASP/SaaS)等の安価なITサービスへの期待感が活発化しています。

このような経営環境の下、当社グループは、社会の緊急課題である「商品の安全・安心」に対する企業間における商品情報交換プラットフォームとして「食品業界/FOODS eBASE」、「生活関連業界/GOODS eBASE (アパレル、日雑、化粧品等、食品系以外)」、「環境・グリーン調達関連業界/GREEN eBASE(家電、情報機器、自動車等)」向けのパッケージソリューションを継続的に開発提供しております。また、「システム開発」、「テクニカルサポート」、「センターマシン運用管理」のIT派遣サービスや「eBASEカスタマイズ開発」、「eBASEオペレーション」、「eBASEserverメンテナンス」のeBASE関連ビジネスを展開しております。

eBASE事業につきましては、商品情報交換ビジネスの継続推進を掲げ、食品業界向け (FOODS eBASE) は、既存FOODS eBASEユーザーへの深耕営業を推進し、新開発機能の提供により、クロスセル・アップセルの強化をすることで既存案件の拡大や新規案件の獲得を図りました。

環境・グリーン調達向け (GREEN eBASE) は、REACH規則対応で大手国内家電セットメーカーや大手化学・調剤メーカーと連携し、国内外市場の開拓や新規顧客の獲得に努めました。

eBASEミドルウェアビジネスは、業界別パッケージソフトを容易に開発してきたeBASE開発環境をミドルウェアとして利用し、顧客別にカスタマイズしたコンテンツ(ドキュメント)マネジメントシステム等への適用による拡販に取り組みました。

クラウド&ストックビジネスは、既存のサポートビジネスに加え、新たなストックビジネスの創出に取り組んでおります。

これら重点事業領域に適合した製品開発をタイムリーに行うために積極的に開発投資を行いました。結果、当社グループ製品の利用者は、累計で約6万7,000ユーザー (平成23年6月末日現在) となり、商品情報交換の標準プラットフォームとしての普及、標準化は順調に進行しております。

連結子会社eBASE-PLUS株式会社の「システム開発」、「テクニカルサポート」、「センターマシン運用管理」に関わるIT派遣サービスでは、顧客ニーズの迅速な把握と対応に取り組みました。また、前期からの「Business Process Re-engineering (BPR)」により、利益確保のできる事業モデルを構築することができました。

こうした結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、621,028千円 (前年同期比497,722千円増)、営業利益33,147千円 (前年同期比72,389千円増)、経常利益41,263千円 (前年同期比80,131千円増)、当期純利益23,588千円 (前年同期比46,686千円増) となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

(イ) eBASE事業

[食品業界向けビジネス (FOODS eBASE)]

小売業界では市場変化による厳しい経営環境が依然として継続しております。食品業界全体では企業間における商品情報交換プラットフォームとしてのニーズは底堅いものがあるものの、単価下落や受注成約までの期間の長期化傾向にあります。しかし、前年度での東日本大震災の影響により顧客での最終決裁が遅れていた大口案件が検収されました。その結果、売上高は前年を大幅に上回りました。開発面といたしましては、eB-foods cloud版のリリースをいたしました。

[環境・グリーン調達関連業界向けビジネス (GREEN eBASE)]

「GREEN eBASE」の優位性である製品情報収集機能の必然性を国内外のサプライヤ企業に対し昨年引き続き無償説明会を開催し、拡販の推進を行いました。また、海外(中国) サプライヤ支援を促進する有償のグリーン調達支援Webサイト『GREEN Cloud Concierge Counter (GCCC)』の展開で、海外(中国)の有償会員が順調に増加しており、ネットワーク化が進行しています。その結果、売上高は前年を大幅に上回りました。

開発の取り組みといたしましては、『GREEN Cloud Concierge Counter (GCCC)』のWebサイトで、多言語(中国語/英語/日本語)による化学物質管理のノウハウコンテンツの配信を可能としており、今後、GREEN eBASEの海外展開のポータルサイトとして継続的な機能拡張を計画しております。また、アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)と日本化学工業協会(JCIA)等の有志メンバーが連携する化学・調剤・輸出・OA機器企業によるREACH対応に向けた新しい規格である「OR2IS(オーリス)」のシステム開発も順調に進捗しています。

[eBASEミドルウェアビジネス]

あらゆる業界でリッチな商品データベースニーズは顕在化傾向が続いており、業界別パッケージソフトを容易に開発してきたeBASE開発環境を利用し、顧客別にカスタマイズしたコンテンツ(ドキュメント) マネージメントソフトの開発販売が、受注までの期間が長期化していることによる受注遅れの案件がありながらも計画通りとなりました。なかでも特化した業界(工具業界、電材業界、家具業界)への攻略アプローチを推進し、汎用商品データベースとしてのeBASEビジネスは着実に増加しております。

[クラウド&ストックビジネス]

既存のサポートビジネスは順調に推移しております。また、新たなストックビジネス創出に着手しており、第4四半期での売上を見込んでおります。取組みといたしましては、各種オンプレミス製品のクラウドサービス化や、無償eBASEjr.にて各種有償ソフト機能を利用回数に応じてポイント精算いただくプリペイド方式サービス(eB-PointService)を強化推進する予定です。

この結果、eBASE事業では売上高は183,965千円(前年同期比60,659千円増)、経常利益11,699千円(前年同期比50,567千円増)となりました。

(ロ) eBASE-PLUS事業

IT派遣サービスでは、顧客ニーズの迅速な把握と対応に取り組み、計画を上回りました。さらに、前期からの「Business Process Re-engineering (BPR)」で昇給、昇格によるコストアップ要因があるものの、管理業務の「eBASE」を活用したシステム化(給与計算等)、スタッフ部門の効率化によるコスト削減や技術者の稼働率改善として親会社への派遣等により利益確保のできる事業モデルを構築することができました。その結果、売上高は437,462千円、経常利益29,610千円となりました。グループシナジーの創出に向けて、eBASE事業の顧客SIerへの「eBASEカスタマイズ開発」、「eBASEオペレーション」、「eBASEserverメンテナンス」の提供・パートナー化、既存IT派遣事業の顧客へのeBASEビジネスの新規提案を推進していきます。

第3四半期以降、次の成長に向けて技術者投入を積極的に推進するための新規採用等の施策を計画しており、通期利益は当初計画通りの見込みです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第1四半期末の総資産は前連結会計年度末に比べ、11,525千円減少し1,219,710千円となりました。主な要因は現金及び預金が108,007千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が125,764千円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、12,138千円減少し141,300千円となりました。主な要因は未払金が9,123千円、預り金が7,072千円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が32,179千円減少したこと等によるものであります。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、612千円増加し1,078,410千円となりました。これは主に、四半期純利益を23,588千円計上した一方で、配当金の支払を23,275千円したことにより利益剰余金が増加したこと等によるものであります。これにより自己資本比率は88.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更ございません。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであるものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	456,480	564,487
受取手形及び売掛金	445,862	320,097
貯蔵品	262	269
その他	11,050	19,847
貸倒引当金	△2,683	△1,928
流動資産合計	910,972	902,773
固定資産		
有形固定資産	13,190	13,570
無形固定資産		
のれん	70,101	66,411
その他	2,507	2,254
無形固定資産合計	72,608	68,666
投資その他の資産		
投資有価証券	205,954	205,722
その他	28,511	28,978
投資その他の資産合計	234,465	234,700
固定資産合計	320,263	316,937
資産合計	1,231,236	1,219,710
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,150	2,503
未払法人税等	47,697	15,518
その他	101,585	122,245
流動負債合計	152,433	140,266
固定負債		
その他	1,005	1,034
固定負債合計	1,005	1,034
負債合計	153,438	141,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	190,349	190,349
資本剰余金	162,849	162,849
利益剰余金	757,021	757,334
自己株式	△36,356	△36,356
株主資本合計	1,073,862	1,074,175
新株予約権	431	560
少数株主持分	3,503	3,673
純資産合計	1,077,797	1,078,410
負債純資産合計	1,231,236	1,219,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	123,306	621,028
売上原価	17,325	393,954
売上総利益	105,981	227,073
販売費及び一般管理費	145,223	193,926
営業利益又は営業損失(△)	△39,242	33,147
営業外収益		
受取利息	300	872
消費税等簡易課税差額収入	—	6,200
その他	74	1,054
営業外収益合計	374	8,127
営業外費用		
為替差損	—	11
営業外費用合計	—	11
経常利益又は経常損失(△)	△38,867	41,263
特別利益		
貸倒引当金戻入額	977	—
特別利益合計	977	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△37,890	41,263
法人税、住民税及び事業税	1,264	14,953
法人税等調整額	△16,240	2,551
法人税等合計	△14,976	17,505
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△22,914	23,758
少数株主利益	183	170
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,097	23,588

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△22,914	23,758
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△22,914	23,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,097	23,588
少数株主に係る四半期包括利益	183	170

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。